

# 2019年度 環境活動レポート

[2019年 5月 1日～2020年 4月 30日]

2020年9月1日

千代田興産株式会社

# 千代田興産株式会社

## 環境方針

### 基本理念

千代田興産株式会社は、地球環境の保全への取組が最重要課題の一つであることを認識し、従業員一人一人が積極的に継続的に環境負荷を改善していき、社会貢献を目指した企業活動を推進します。

### 基本方針

千代田興産株式会社は、環境に関する法規制を遵守し、法の精神に基づき必要な処置を講じて、環境改善を図ることを目的とし、以下の方針を推進致します。

1. 当社の事業活動に係る環境影響を常に認識し、自主的・積極的に環境負荷の削減を図ります。
2. 当社の事業活動に係る環境関連法規その他の関連事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に係る環境影響に関し、以下の事項を環境管理テーマとして取組みます。
  - ①二酸化炭素(CO2)排出量の削減
  - ②水使用量の低減
  - ③廃棄物の削減及びリサイクルの推進
  - ④グリーン購入の推進
  - ⑤省エネに対応した取扱商品を増やす
4. 当社の環境負荷低減活動を全社員に周知し、環境活動レポート等を作成し、公表します。  
また、必要に応じて評価と見直しを行い、環境方針の見直し変更を継続的に行います。

制定 2008年7月1日

改定 2009年9月1日

改定 2011年7月8日

改定 2016年9月1日

千代田興産株式会社  
代表取締役 前谷 博久

## 1. 組織の概要

### (1) 事業者氏名及び代表者名

千代田興産株式会社

代表取締役 前谷 博久

### (2) 所在地

本 社	〒810-0012	福岡県福岡市中央区白金2丁目5-16
東京支社	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町4丁目6-7 光洋ビル
大阪支店	〒550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀1丁目15-27 アルテビル肥後橋
中国支店	〒730-0037	広島県広島市中区中町7-32 ニッセイ広島ビル
四国支店	〒760-0022	香川県高松市西内町4-6 神原ビル
鹿児島支店	〒890-0052	鹿児島県鹿児島市上之園町25番1号 中央ビル
大分営業所	〒870-0037	大分県大分市東春日町6番1号 つつみビル
岡山営業所	〒700-0984	岡山県岡山市桑田町18番28号 明治安田生命岡山桑田町ビル
神戸営業所	〒650-0023	神戸市中央区栄町通2-3-9 共栄ビル

### (3) 環境管理責任者及び担当者の連絡先

・環境管理責任者	総務部長 今村 英睦
・環境管理担当者	総務部 宇野 健一
・連絡先	TEL 092-533-2981 FAX 092-533-2999
・E-mail	<a href="mailto:uno.kenichi@cknet.co.jp">uno.kenichi@cknet.co.jp</a>
・URL	<a href="http://www.cknet.co.jp">http://www.cknet.co.jp</a>

### (4) 事業の内容

・電気機器の販売並びに販売に関する設置・保守

### (5) 事業の規模 (各年1月現在)

区 分	場 所	2016年	2017年	2018年	2019年
従業員(人)	本 社	74	80	81	87
	東京支社	18	18	18	19
	大阪支店・神戸営業所	32	35	40	49
	中国支店・岡山営業所	34	37	38	35
	四国支店	6	5	5	6
	鹿児島支店	8	10	10	10
	大分営業所	4	4	6	6
床面積(m <sup>2</sup> )	本 社	890	890	890	890
	東京支社	152	152	152	152
	大阪支店・神戸営業所	407	407	407	507
	中国支店・岡山営業所	238	238	238	238
	四国支店	56	56	56	56
	鹿児島支店	83	83	83	83
	大分営業所	107	107	107	107

※ 岡山営業所は中国支店が兼任しているため、中国支店の数値に織り込んでいる。  
2018年度中に神戸営業所を開設した。但し神戸営業所は大阪支店が兼任することになるので、  
2019年度から大阪支店に神戸営業所を加えることにする。

### (6) 事業年度

・5月～翌年4月

## 2. 対象範囲

### (1) 事業所名

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 千代田興産株式会社 | 本社    |
| 2. 千代田興産株式会社 | 東京支社  |
| 3. 千代田興産株式会社 | 大阪支店  |
| 4. 千代田興産株式会社 | 中国支店  |
| 5. 千代田興産株式会社 | 四国支店  |
| 6. 千代田興産株式会社 | 鹿児島支店 |
| 7. 千代田興産株式会社 | 大分営業所 |
| 8. 千代田興産株式会社 | 岡山営業所 |
| 9. 千代田興産株式会社 | 神戸営業所 |

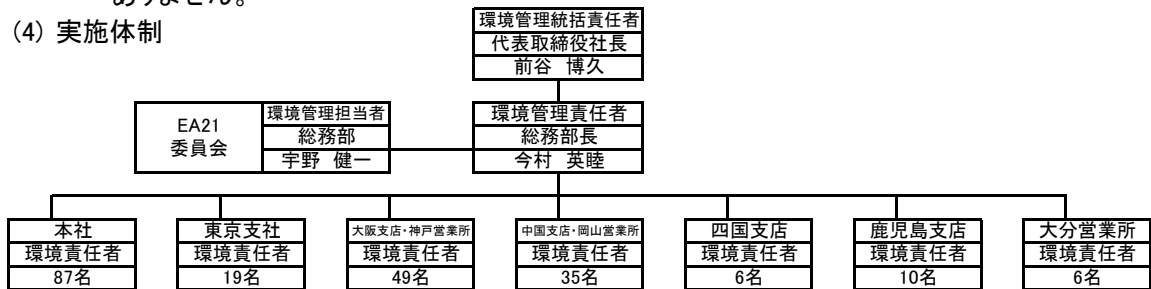
### (2) 活動

- ・電気機器の販売並びに販売に関する設置・保守

### (3) 対象外事業所及び対象外事業活動

- ・ありません。

### (4) 実施体制



## 3. 環境目標とその実績

環境方針に基づいて、以下の目標を掲げて環境活動に取り組みました。

### (1) 中期目標

区分	年度	単位	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
			基準年	削減率	2018.05-2019.04		2019.05-2020.04		2020.05-2021.04	
					年度目標	削減率	年度目標	削減率		
I	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	220,570.4	-1%	218,364.7	-3%	213,953.3	-5%	209,541.9	
	①電気使用量	kWh	229,926.2	-1%	227,626.9	-3%	223,028.4	-5%	218,429.9	
	②自動車燃料(ガソリン)	L	44,216.0	-1%	43,773.8	-3%	42,889.5	-5%	42,005.2	
	③自動車燃料(軽油)	L	10,851.7	-1%	10,743.2	-3%	10,526.1	-5%	10,309.1	
II	水使用量	m <sup>3</sup>	771.0	-1%	763.3	-3%	747.9	-5%	732.5	
III	一般廃棄物排出量	kg	2,473.1	-1%	2,448.4	-3%	2,398.9	-5%	2,349.4	
IV	グリーン購入(事務用品)	率	-	-	80%	-	80%	-	80%	
V	環境・省エネ商品提案	件数	108件	-	111件	-	115件	-	119件	

### (2) 【第65期(2019年5月~2020年4月)の目標と実績】

区分	年度	単位(総量)	目標削減率(基準年比)	基準年実績	年度目標	実績	目標達成状況		
							対基準年度	対年度目標	自己評価
I	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	-3%	220,570.4	213,953.3	204,526.9	-7.3%	-4.4%	○
	①電気使用量	kWh	-3%	229,926.2	223,028.4	241,336.1	5.0%	8.2%	×
	②自動車燃料(ガソリン)	L	-3%	44,216.0	42,889.5	39,596.6	-10.4%	-7.7%	○
	③自動車燃料(軽油)	L	-3%	10,851.7	10,526.1	7,128.8	-34.3%	-32.3%	○
II	水使用量	m <sup>3</sup>	-3%	771.0	747.9	927.7	20.3%	24.0%	×
III	一般廃棄物排出量	kg	-3%	2,473.1	2,398.9	2,873.0	16.2%	19.8%	×
IV	グリーン購入(事務用品)	率	-	-	80%	46.2%	-	-42.3%	△
V	環境・省エネ商品提案	件数	-	108件	111件	84件	-	-24.3%	△

・環境・省エネ商品に関しては、本年から実績件数のみを記載に変更した。

・二酸化炭素排出量の実績値において、購入電力の排出係数は下記の係数を使用しました。

- |                 |                                |              |
|-----------------|--------------------------------|--------------|
| ①本社、鹿児島支店、大分営業所 | 0.000369t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度九州電力) |
| ②東京支社           | 0.000384t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度東京電力) |
| ③大阪支店           | 0.000294t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度関西電力) |
| ④中国支店           | 0.000628t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度中国電力) |
| ⑤四国支店           | 0.000407t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度四国電力) |

## 4. 環境活動計画の実施状況と評価

### (1) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価
電気使用量の削減 (-3%)	×	・エアコンの温度設定	○	基準年よりも10%ほど人員増の中で計画値を達成できなかった。省エネ活動は取組計画の通り実行中。
		冷房時温度 26℃	○	
		暖房時温度 20℃	○	
		・不要照明の消灯	○	
		・OA機器の節電	○	
		・太陽光発電	○	
自動車燃料使用量の削減 (-3%)	○	・エコ運転の徹底		目標値を達成することができた。車両の入れ替えにおける燃費の向上も功を奏したと思われる。多くの拠点で走行距離が減少するにいった。年度末のコロナの影響もあり得るので、来期を注視する。 eテレマに関しては、エコドライブと安全運転の意識醸成に寄与している。 ドライブレコーダーは全車搭載済みである。 あおり運転に対する対策、啓発を行う。
		アイドリングストップ	△	
		タイヤ空気圧点検	○	
		法定速度運転の推進	○	
		急発進・急加速の禁止	○	
		空ふかしの禁止	○	
		エコ車両への切換	○	

### (2) 水使用量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価
水使用量の削減 (-3%)	×	・水道水圧を下げる	○	管理対象は本社と大阪支店のみである。  社員増による水量増と理解しているが、本年より本社で花壇に手を入れて、定期的な水やりを実施していることが影響していると考えられる。職場環境を維持するうえで、止むを得ないと考える。
		・各蛇口の節水	△	
		・水洗トイレの節水	△	

### (3) 一般廃棄物排出量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価
一般廃棄物の削減 (-3%)	×	・現状把握の実施	○	中国で事務所リノベーション工事を行った結果、廃棄する書類が大幅に増えた。
		・廃棄物の排出量を計量する	○	
		・リサイクル率の向上		
		古新聞、古雑誌等のリサイクル	△	
		アルミ缶、スチール缶、瓶	○	
		ペットボトル	○	

### (4) グリーン購入比率向上

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価
グリーン購入比率向上	△	・グリーン購入対象商品の購入推進	△	今後、グリーン購入については、目標を意識せずに取り組んでいく。

### (5) 省エネに対応した取扱商品を増やす

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価
環境・省エネに貢献する商品の取扱	△	環境・省エネ商品提案	△	省エネ提案の件数に拘らず、提案により受注できた件数を充実させていく。

\* 各拠点では少々差異はあるものの、全社として取りまとめると上記の達成状況、実施状況となった。

## 5. 次年度の取組み

2018年度からの中期計画の見直しの2年目として、-3%を目標に取り組みを実施した。

電気、水道および一般廃棄物など人員増が結果にすぐに出やすいものと、

ガソリンなど影響が出にくいもので明暗が分かれるような結果が見受けられた。

2020年度は中期計画で-5%を目標としている。各事業場の削減対策等の共有化を図りつつ、継続可能な環境の整備と実行を進めたい。

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)	適合状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物(本社) 建設業関連廃棄物(本社・大阪支店・中国支店)	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品 業務用の空調機器	○
自動車NOx・PM法	車両管理	○
福岡県・市環境基本条例	本社事業	○
東京都環境基本条例	東京支社事業	○
大阪府・市環境基本条例	大阪支店事業	○
広島県・市環境基本条例	中国支店事業	○
香川県・高松市環境基本条例	四国支店事業	○
兵庫県・神戸市環境基本条例	神戸営業所事業	○
大分県・市環境基本条例	大分営業所事業	○
鹿児島県・鹿児島市環境基本条例	鹿児島支店事業	○
岡山県・市環境基本条例	岡山営業所事業	○

2019年5月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

2017年度実績を基準値として取り組んだ新中期計画の2年目として、2019年度の活動を顧みると社員増により(2017年度189名→2020年度212名と23名増員)、2017年度の実績人数から10%以上の変化が生じています。人員増の環境から、新中期計画の見直しも視野に入れつつ、社員全員においては、一層の取り組みをお願いしたいと思います。

本年度の具体的な数値を見てみると、電気・水道・一般廃棄物に関しては、人員増の影響が顕著に見て取れます。電気は目標値を8.2%、水道は24%、一般廃棄物においては中国支店での過去分の一斉廃棄処理も重なり、19.8%の増となりました。水道使用量は、本社における花壇整備(更新)における定期的な水やりも影響していると考えております。このため本社における環境整備・緑化などの観点から一概に問題視せず、必要な節水を心がけます。

一方で、ガソリンなどに関しては、工事場所の変化や新規車両の入替などもあり燃費向上などで、30%以上の削減が実施でき評価したいと思います。

省エネ、省エネ商品の提案においては本年度より、受注件数を把握することに変更しており、本年を基準年として今後の展開を検討することとします。

また弊社四国支店の取組事例を紹介させていただきます。愛媛県愛び一斉制度/愛媛ふれあいの海辺に参加し、県管理の海岸・港湾緑地の一定区域について、住民団体、海岸愛護団体、NPO、企業等の自発的な清掃ボランティアで海岸・港湾緑地(「海岸」)の愛護サポーターとなり、行政と地域住民の合意・協働により、美しい海岸環境を創り出していこうとする取り組みです。



(実施概要)

本件に関しては、三菱電機四国支社愛媛支店と連携して実施しており、清掃活動を通じて地域貢献活動をしなが、普段あまり接する機会の少ない方とのコミュニケーションを取れて非常に良い場になっていると思います。

	第1回	第2回
日程	2019/9/13	2019/10/25
場所	梅津寺海岸	梅津寺海岸
参加人数	7社 9名	5社 9名
回収量	40kg	20kg

省エネ活動の取り組みとして、弊社グループ会社である千代田計装本社ビルの照明工事を実施しました。全館約200箇所の電灯をLEDに変更する工事を実施いたしました。本件はグループ会社の省エネ活動にも協力することができ、非常に良い案件でしたので、ご紹介いたします。来期以降も社会全体の省エネに貢献できるように活動をお願いいたします。

最後に、2020年度はコロナ禍の影響で、今までになかった働き方や環境の変化が起こっており、多様な方面で新しい環境に対応していかなければならないと思います。その中でも持続可能なエコ活動に邁進していきますので、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。